

## 製品系列とバー形状の関係

メインバー				P ピッチ (mm)	クロスパイプ (直径×板厚) (mm)	エンドバー フラットバー サイズ(mm)			
製品 系列	フラットバー サイズ(mm)	形状有無	断面 係数 (mm <sup>2</sup> )						
フラット バー系	3×15	○ △	112	843	30.00	φ8×1.0t			
	3×20	○ △	200	2000		4×15			
	3×25	○ △	312	3906		4×20			
	3×32	○ △	512	8192	24.75	φ12×1.2t			
	3×38	○ △	722	13718		4×25			
	4×15	○ △ □	150	1125		4×32			
	○ △ □ プリ スウェ ル スウェ ル	4×20	○ △ □	266	2666	22.00	φ8×1.0t		
		4×25	○ △ □	416	5208		4×38		
		4×32	○ △ □	682	10922		4×45		
		断面形状	4×38	○ △ □	962	18290	15.00	φ12×1.2t	
			4×45	○ △ □	1350	30375		4×50	
			4×50	○ △ □	1666	41666		4×60	
断面形状			4×60	○ □	2400	72000	14.14	φ12×1.2t	
			4×65	○ □	2816	91541		4×65	
			4×75	○ □	3750	140625		4×75	
			断面形状	4×90	○ □	5400	243000	12.37	φ8×1.0t
				6×20	○ □	400	4000		6×20
				6×25	○ □	625	7812		6×25
	断面形状			6×32	○ □	1024	16384	11.00	φ12×1.2t
				6×38	○ □	1444	27436		6×32
				6×45	○ □	2025	45562		6×38
		断面形状		6×50	○ □	2500	62500	9.90	φ12×1.2t
				6×60	○ □	3600	108000		6×45
				6×65	○ □	4225	137312		6×50
断面形状				6×75	○ □	5625	210937	9.00	φ12×1.2t
				6×90	○ □	8100	364500		6×60
									6×65
							7.98	φ12×1.2t	
								6×75	
								6×90	

メインバー				P ピッチ (mm)	クロスパイプ (直径×板厚) (mm)	エンドバー フラットバー サイズ(mm)			
製品 系列	フラットバー サイズ(mm)	断面 係数 (mm <sup>2</sup> )	断面二次 モーメント (mm <sup>4</sup> )						
断面形状 フラットバー系 ウエーブ	3×15	105	762	30.00	φ8×1.0t	4×15			
	3×20	190	1853	24.75		4×20			
	3×25	300	3676	22.00		4×25			
	断面形状 フラットバー系 ビッグ ウエーブ	3×32	496	7813	19.80	φ12×1.2t	4×32		
		3×38	703	13183	15.00		4×38		
		4×20	192	1637	14.14		φ8×1.0t		
		断面形状	4×25	322	3549	13.03	φ12×1.2t	4×25	
			4×32	560	8129			4×32	
			4×38	816	14291			4×38	
			断面形状	4×45	1176	24696	12.37	φ12×1.2t	4×45
				4×50	1472	34607			4×50
				4×60	2166	61731			4×60
断面形状				4×65	2562	79442	11.00	φ12×1.2t	4×65
				4×75	3456	124416			4×75
				4×90	5046	219501			4×90
							9.90	φ12×1.2t	
								4×65	
								4×75	
							4×90		
							7.98	φ12×1.2t	
							4×60		
						4×75			
						4×90			

●歩道用縦目グレーチングのエンドバーは溝幅50~250mmまで 5t を使用。溝幅250mm以上は 9t を使用。

●メインバー厚み 6t 使用グレーチングについて、P9.00・P7.98 は取扱ございません。  
●歩道用縦目グレーチングのエンドバーは溝幅50~250mmまで 5t を使用。溝幅250mm以上は 9t を使用。

メインバー				クロスパイプ (直径×板厚) (mm)	エンドバー フラットバー サイズ(mm)	P ピッチ (mm)	メインバー				クロスパイプ (直径×板厚) (mm)	エンドバー フラットバー サイズ(mm)		
製品 系列	Jバー サイズ(mm)	形状有無	断面 係数 (mm <sup>2</sup> )				断面二次 モーメント (mm <sup>4</sup> )	製品 系列	Tバー サイズ(mm)	形状有無			断面 係数 (mm <sup>2</sup> )	断面二次 モーメント (mm <sup>4</sup> )
ロール ホーミング材 ○ △ ☆	T15	○ △ ☆	55	576	φ6×0.8t	30.00	T15	○ △ ☆	168	931	φ6×0.8t	5×15 (9×15)		
													28.28	5×20 (9×20)
													26.06	
	24.14													
	T20	○ △ ☆	96	1301	φ8×1.0t	20.20	T20	○ △ ☆	272	2109	φ8×1.0t	5×20 (9×20)		
													17.07	
15.00														
T25	○ △ ☆	147	2422	φ8×1.0t	14.14	T25	○ △ ☆	272	2109	φ8×1.0t	5×25 (9×25)			
												13.03		
												12.07		
					11.00									
					10.00									

●縦目グレーチングのエンドバーは溝幅50~250mmまで 5t 使用。溝幅250mm以上は 9t 使用。呼称:4015のみ15t使用。

製品 形状	適用 荷重	底波板		適用寸法						
		形状 サイズ (mm)	底板 厚さ (mm)	みぞぶた			ますぶた			
				溝 幅(mm)	エンドプレート		エンドプレート		ますぶた	
充填型 ふた	T-14		2t	100~303	FB4×45	FB4×75	300~464		FB4×75	PL4×105
				304~386			465~600			
				387以上			-			
	T-2		2t	100~450			300~450		FB4×75	FB4×45
				451以上			451~600			
歩道用		2t	100~600	FB4×32	300~600		FB4×32			

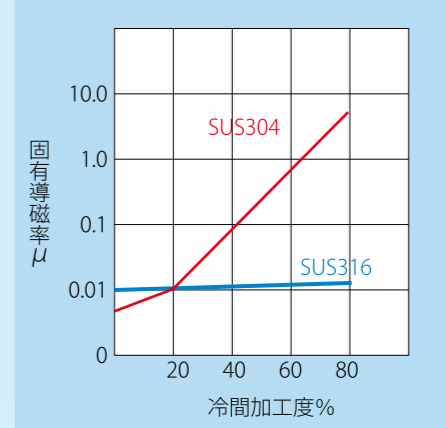
## 強度分類基準

- T-20(重荷重型) 総重量20,000kgまでの車輛の通行する場所に設置可能なもの。  
\*〈グレードE〉住宅団地内、工場構内など重量車輛の通行が少ない場所に設置可能なもの。
- T-14(重荷重型) 総重量14,000kgまでの車輛の通行する場所に設置可能なもの。  
\*〈グレードE〉住宅団地内、工場構内など重量車輛の通行が少ない場所に設置可能なもの。
- T-6(中荷重用) 総重量6,000kgまでの車輛の通行する場所に設置可能なもの。  
ただし緊急車輛の通行は可能。
- T-4(準中荷重用) 総重量4,000kgまでの車輛の通行する場所に設置可能なもの。
- T-2(軽荷重用) 総重量2,000kgを超える車輛が通行しない場所に設置可能なもの。
- 歩道用 500kg/m<sup>2</sup>以下の荷重だけが掛かる場所に設置可能なもの。

## 磁性について

ステンレス鋼は、鉄を主成分としてこれに約12%以上のクロム(Cr)を含み、さらに必要に応じてニッケル(Ni)やその他の元素を配合添加してつくられる合金鋼です。この様にステンレスは鉄を主成分としながら鉄のもつ弱点が改良され、特に美観、強度、耐蝕性、耐熱性、耐衝撃性および加工性などの点で、鉄よりも優れた特性をそなえています。SUS304は、18Cr-8Niで、オーステナイト系に属するもので、一般建材用に使用されている代表的な鋼種であります。このSUS304は、Cr-Niの成分のバランスからみて、安定オーステナイト鋼ではなく、準安定オーステナイト鋼の部類に属するものであります。従って準安定オーステナイト鋼であるSUS304は、種々の冷間加工、冷間圧延などの加工を加えると、磁性を持つことがあります。即ち成分的にはJIS規格を充分満足しているものでも、強度の冷間加工が行われた製品には磁性があります。これは冷間加工することにより、金属の結晶構造が一部変化して(準安定オーステナイト組織の一部が変態して、マルテンサイト組織になる)磁性をもつことになるわけです。冷間加工度と磁性(導磁率で表す)の関係を右図に示します。

冷間加工による磁性の変化



SUS304はJISの化学成分規格を充分満足しているものであっても、冷間加工を施すことによって磁性を持つことになります。従って、その冷間加工度が増すにつれ、磁性も増し、磁石で感ずる様になるわけでありませす。